

■ 実証実験の概要

来年度以降に多くの市民が受診する健康診断などへの導入を視野に入れ、歯の健康に関わる行動変容の実証実験を開始します。

- 実施期間：2022年8月1日～2022年2月28日（約6ヶ月間）
- 実施場所：倉敷市職員のご自宅など
- 対象者：①「視覚拡張技術」 倉敷市職員 約40人 及びご家族等
②「分類・予測技術」 倉敷市職員 約40人 及びご家族等
- 年齢・性別：不問
- 内容：対象者①に、「視覚拡張技術」である歯垢検査機器、対象者②に「分類・予測技術」である歯茎健康チェックのAIアプリを提供し、6カ月間利用した場合の行動変容に関する効果を検証する。
- 評価項目：他者推奨、歯の磨き方、歯間清掃用具使用状況、口臭、歯科受診等

■ 先端技術について

①「視覚拡張技術」：染め出しライト ※4

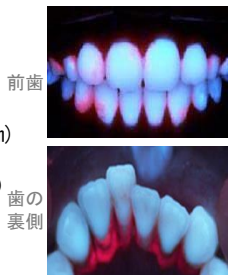
光誘導蛍光定量法（Quantitative Light-induced Fluorescence）を応用した口腔内の悪性細菌を蛍光し、口腔内の状態を客観的に可視化する先端技術

新しい歯垢の可視化方法！！

染め出しライト 成熟したプラークを赤く発光



大きさ：直径 1.5 (cm) × 長さ 13 (cm)
重さ：約26g（電池除く）
バッテリー：単四電池2本（含まない）
スイッチ：プッシュ式 On / Off



一般的な歯垢可視化の方法

歯垢着色液

付着した粘着物を赤く着色



※4 厚生労働省福祉用具・介護ロボット実用化支援事業2020 採択機器 p44, 45 案件番号：02-C06

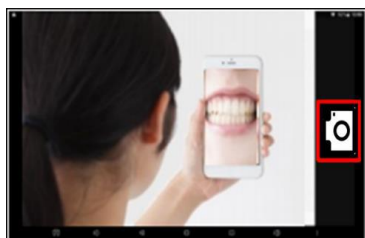
②「分類・予測技術」：Dental Status ※5

AIを活用した独自画像処理技術で、スマホ等で写真を撮るだけで歯周病専門医の目を再現する先端技術

新しいお口の健康検査方法！！

Dental Status

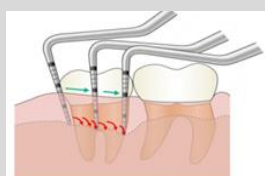
スマホで写真を撮るだけで歯周病リスク予測



一般的な歯周病の検査方法

プロービング法

歯周ポケットの深さを測定



※5 厚生労働省 歯周病予防に関する実証事業に係る調査研究等一式 p92

■ 企業の概要

名称	歯っぴー株式会社
代表者名	小山昭則
所在地	熊本県熊本市北区鶴羽田町1041番地57
創業年月	2018年1月4日
事業概要	ヘルスケア機器類の開発、製造、提供、並びに共同開発など
従業員数	7名(非常勤含む)
資本金	5,000千円

■ 企業のビジョン

1. 歯の健康・お口の健康の維持を助ける

- ・ 市民が歯の状態を把握し、自ら歯のケアを行うことを助ける。
- ・ 市民が健康的な歯・口の状態を維持できるようになる。

2. むし歯や歯周病予防を促進する

- ・ 市民が、自らの歯の状態を把握し、むし歯や歯周病予防の必要性を理解することで、積極的に歯医者への通院、治療持続率を向上をさせる。
 - 日本では、35歳以上の男性の80%が歯周病であるにもかかわらず、自覚症状なく進行するため、市民の多くが積極的な予防や治療を行っていない。
 - 現在の歯周病の定期検診受診率は4.3%と、欧米（70～80%）に対して非常に低い水準にとどまっている。

3. 合併症を早期に発見する

- ・ 歯や口の状態から、糖尿病などの合併症の兆候を早期に察知し、進行を防ぐ。

市民の健康増進

歯・口に関する病気やその合併症について、自主的なケアや早期の治療を行うことで、市民の健康を高い水準で維持することができる。

社会保障に係るコストの低減

多額の医療費に係る重度の症状に至る前に治療を行うことで、医療コストが削減でき、健康保険組合や自治体の財政健全化や、社会保険料の低減にもつながる。

■ 本件に関するお問合せ

歯っぴー株式会社 担当：牟田
連絡先：info@100years.life